

令和七年度

風土記の丘ギャラリー 新春展

春を待つ

三次人形とひな人形

百七十年のあゆみ



立ち娘（宮の嶺）



源義経（十日市）



天神（十日市）



碇曳き童子（宮の嶺）

古くは節句飾りとして親しまれ、
県北の春を彩った三次人形。
その170年に渡る歴史と
作風を紹介します。

令和8年 2月6日（金）～3月29日（日）

● 展示品

三次人形（明治時代～現代） 約30体

ひな人形はギャラリー室前に展示します。

● 展示解説会

日時：令和8年3月1日（日）14時～15時

解説：当館学芸員



みよし風土記の丘ミュージアム

広島県立歴史民俗資料館

住所：広島県三次市小田幸町122

TEL: 0824-66-2881

資料館
HP



公式
SNS



X Instagram

- 開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）
- 休館日 月曜日（ただし2月23日は開館）、2月24日
- 入館料 常設展の料金でご覧いただけます。

一般：200円（160円）、
大学生：150円（120円）、
高校生以下・65歳以上：無料。
()は20名以上の団体料金。